

研究分野		授業科目名				科目責任者	
形態系分野		消化器侵襲的画像診断治療学特論Ⅰ・Ⅲ				河本 博文	
開講年次		共通/専攻/選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
低侵襲治療のための消化器疾患の診断治療を目的とした Intervention について理解を深め、最新の情報を説明できるよう修得する。							
授業到達目標							
(1) カンファレンスに参加して、患者の病態を理解し、どの段階でどのような Intervention が適応になるか理解し、説明できる。 (2) 最新の文献を読み、研究デザイン、結果を批判的に評価し、さらにそのような文献の優れた点を参考にして、自分の臨床研究に反映できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	月	17:00-21:00	河本 博文	講義	[抄読会]	消化器疾患診断、治療に関する新しい話題や英文論文を紹介する。 [場所:総合医療センター5階カンファレンスルーム]
2	毎週	木	13:30-17:00	河本 博文	講義	[症例検討会]	入院症例に関する検討会 [場所:総合医療センター5階カンファレンスルーム]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。42・43頁:単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
(1) 紹介論文の要約について、添削して返却する。 (2) 発表時に、指導・助言を行う。							
教科書							
ISBN-9784758110457, 胆膵内視鏡の診断・治療の基本手技(改訂3版), 糸井隆夫, 羊土社, 2017							
参考書							
ISBN-9787883787098, とことん知りたい ERCP の手技のコツ(消化器内視鏡レクチャー1巻3号), 糸井隆夫, 総合医学社, 2013 ISBN-9784758110464, 胆膵内視鏡治療-手技の極意とトラブルシューティング-, 小池和彦(監), 羊土社, 2012							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 最新の論文を読み、知識を修得し、英文および邦文の文献検索を各自で行うこと。 (2) 経験した症例についてレポートを作成すること。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
卓越した研究成果をあげ、消化器分野の深い学識を獲得する。							
注意事項・メッセージ							
最新の英文論文を読み知識を常にアップデートしておくこと。							